

## カモ特集～鳥屋野潟のカモ、カモの生態について～

鳥屋野潟で見られるカモ 私が目撃することが多い順です。

|   |                                     |                                     |  |
|---|-------------------------------------|-------------------------------------|--|
| <p>1<br/>カルガモ(軽鴨)<br/>雌雄の違いは下尾筒に注目。</p> | <p>2<br/>マガモ(真鴨)<br/>左がオス、右がメス。</p> | <p>3<br/>コガモ(小鴨)<br/>左がメス、右がオス。</p> | <p>4<br/>ヒドリガモ(緋鳥鴨)<br/>左がメス、右がオス。</p>         |
| <p>5<br/>オナガガモ(尾長鴨)<br/>左がオス、右がメス。</p>  | <p>ハシビロガモ(嘴広鴨)<br/>左がオス、右がメス。</p>   | <p>ホシハジロ(星羽白)<br/>左がオス、右がメス。</p>    | <p>キンクロハジロ(金黒羽白)<br/>オナガガモの手前にいるのがメス、右がオス。</p> |

カルガモ、マガモ、コガモ、ヒドリガモは多い。オナガガモの目撃は女池地区の方が多し。ハシビロガモは、たまにいる。ホシハジロは、たまーにいる。キンクロハジロは、ほぼいないけどいるときもある。

### ◆エサの食べ方 ※何を食べるかによってエサの取り方が変わります。

#### ・水面採食

主に淡水域に生息するカモ(マガモやコガモなど)で水面に浮いた植物の種子などを食べるため、くちばしを水面と水平にする。また、水底に溜まった種子や水草を食べるため逆立ちをして食べる姿も見る事ができる。

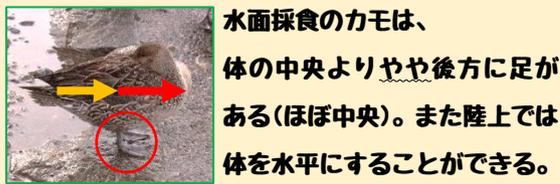


#### ・潜水採食

主に海水域に生息するカモ(キンクロハジロやミコアイサなど)で魚類や甲殻類、貝類を、海藻類などを食べるため、水中を泳ぎまわる。



### ◆体型 ※エサの食べ方で、足の位置に変化があります。



水面採食のカモは、体の中央よりやや後方に足がある(ほぼ中央)。また陸上では体を水平にすることができる。



潜水採食のカモは、体の後方に足がある。また体の後方に足があるため陸上では直立した形になる。

### ◆飛び立ち方 ※足の位置で飛び方も変わってきます。

#### 水面採食は直接飛び立ち。

水面上からいきなり飛び立つ方法。また足がほぼ中央に位置するため、陸上を歩いて草を食べることができる。  
※ハクチョウは水面採食だが体が大きいので助走飛び立ち。

#### 潜水採食は助走飛び立ち。

水面を足の水かきで交互に蹴りながら飛び立つ方法。また足が後方に位置する為、水を蹴るのには便利だが歩くのが下手。

- キジ目キジ科
  - 1 キジ
- カモ目カモ科
  - 2 コハクチョウ
  - 3 オカヨシガモ
  - 4 ヒドリガモ
  - 5 マガモ
  - 6 カルガモ
  - 7 ハシビロガモ
  - 8 コガモ
  - 9 ミコアイサ
- ハト目ハト科
  - 10 キジバト
- ペリカン目サギ科
  - 11 アオサギ
- ツル目クイナ科
  - 12 オオバン
- キツツキ目キツツキ科
  - 13 コゲラ
- スズメ目
  - 14 モズ
- モズ科
  - 15 オナガ
  - 16 ハシボンガラス
  - 17 ハシブトガラス
- シジュウカラ科
  - 18 シジュウカラ
- ヒヨドリ科
  - 19 ヒヨドリ
- ウグイス科
  - 20 ウグイス
- エナガ科
  - 21 エナガ
- メジロ科
  - 22 メジロ
- ミンサザイ科
  - 23 ミンサザイ
- ヒタキ科
  - 24 ツグミ
- スズメ科
  - 25 スズメ
- アトリ科
  - 26 シメ
- ホオジロ科
  - 27 カシラダカ
  - 28 オオジュリン

天気：晴れ 風：無  
気温：開始時 2℃/終了時 4℃  
湿度：開始時 70%/終了時 55%